

経営指導員が発見! キラ★星 企業

No.79

姫路商工会議所には様々な業種や規模の事業所が加入されています。

そのなかで、当所経営指導員が出会った「キラッ」と光る事業所の取り組みをご紹介します!



今までの歩み

2022年3月に古民家を改装オープンした『かぐとザッカのお店 Hugkumône』には、代表の尾崎氏が制作する家具のほか、全国のハンドメイド作家の雑貨が数多く並び、尾崎氏は「こどもの頃から工作をすることが好きで、将来はものづくりに携わる仕事がしたいと思っています。」と語る。大学では芸術工学を専攻し、プロダクトデザインについて学んだ後、化学メーカーに就職。およそ2年間、商品パッケージや、チラシのデザインを手がけた。結婚を機に退職したものの、ものづくりが好きという気持ちは変わらず、出産後にはわが子が家庭で使うためのこども用のイスや踏み台を制作し、作品やその制作過程をブログにアップしていた。これが多くの人の目に留まり、販売を希望する声も寄せられたという。ハンドメイド作品が集まるイベントへの出展をきっかけに作品の受注販売を始め、2019年8月に創業に至った。現在では、アトリエでこども家具や看板を制作し、隣接の店舗やオンラインショップで販売するほか、ワークショップの開催も行っている。

自身の経験から生まれるこだわり

Hugkumôneが販売する商品は、尾崎氏がプロダクトデザインから木材の加工、塗装、組み立てまで行っている。ひとつひとつ丁寧に仕上げられた商品からは、手作りならではのあたたかみを感じられる。

人気商品のランドセルラックは、最下段がキャスター付きの棚になっており、出し入れがやすく掃除も簡単だ。また、棚を2つ組み合わせたり、収納ボックスを入れたりレイアウトも好みに合わせて変えることができる。横幅はランドセルがちょうど収まる程度。昨今の住宅事情も考慮して、あえて収納サイズを大きくしすぎず、こどもにとっても使い勝手がいいように工夫がされている。この棚を使って、こどもが自分で片付けや整理整頓、学校の準備をすることが狙いだ。こども家具には、尾崎氏自身が母親として感じた「こどもに自分から進んでなんでもやってほしい」という願いが込められており、それぞれが子育てに寄り添った商品と

“親と子が、はぐくみあえるハンドメイド家具”を。
愛情込めてひとつひとつ丁寧に作っています。

Hugkumône
ハグクモネ
代表 尾崎 正美

なっている。

また、ワークショップでは、退職後に取得した小学校教諭教員免許の資格を活かし、こども向けに、木材を使用した季節の小物やトイカメラの制作体験を行っており、実際に工具に触れてものづくりの楽しさを知ることができる。そのナチュラルで可愛いデザインから、親にとっても飾りたくなる、思い出の作品になるという。

様々なニーズへの対応は手作りだからこそ

こども家具のほかに人気なのが、サロンや教室、整体院など様々な業種向けの木製看板の制作・販売だ。女性の個人事業主からの注文が多く、尾崎氏は自身と同じ個人事業主を応援する気持ちで看板の制作に励む。折りたたみ式のA型看板には、オプションとしてフラワーボックスなどを付けることができ、オリジナリティの高い看板になる。また、受注を受けてから手作業で制作するため、看板の形やデザインの配置、文字入れまで、注文者のイメージにより近いものを提供することが可能だ。注文は、インスタグラムで作品を目にしたことをきっかけに入る場合が多く、北海道から九州まで全国各地への販売実績がある。

今後の展望

尾崎氏は「ワークショップなどの活動を通じたコミュニティづくりを目指したいです。今まではワークショップを“教える”という気持ちで開催していたことに気づきました。参加する方々には純粋にものづくりを“楽しい”と思ってもらえるよう取り組んでいきたいです。お客様にとってHugkumôneが楽しい・ほっとするような空間になればいいと思います。」と語った。同社の今後の活躍に期待したい。

DATA

事業内容：こども家具製作・販売、オーダー看板制作・販売、DIYワークショップ、ハンドメイド雑貨販売
所在地：〒671-0231 姫路市御園野町深志野977-1
電話：090-4300-3579
HP：https://hugkumone.com/
Instagram：@Hugkumone
@kagutozakka_hugkumone